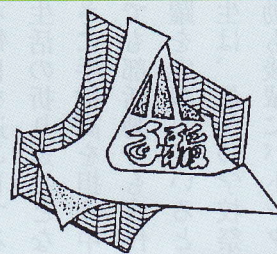


ていね



No.123

札幌手稲高等学校PTA広報誌



空手道部



剣道部



男子テニス部



陸上競技部



女子テニス部



弓道部



女子バスケットボール部



女子バレーボール部



水泳部



男子バレーボール部



男子ハンドボール部



女子ハンドボール部



「愚公移山」

PTA会長 古川 昌代

日本列島各地で起きている火山活動や、加えて集中豪雨などの異常気象によるニュースも小休止し、北海道は夏らしい晴天が続いております。

PTA会員の皆様・地域の皆様には、多大なるご支援をいただき感謝申し上げます。

去る四月の総会にて皆様にご承認いただきました、今年度のPTA事業も、各委員会・学年委員会において活発に進められております。

さて、今年四月に手稲高生となった一年生も、三か月が経過し、高校生活にも慣れ、授業に部活に有意義な毎日を過ごしてようです。高校生活の折り返しとなる二年生は、まさに手稲高を担う中核として学校内でも部活動でも責任ある立場での活躍を実践していると思います。三年生は、最後の学校祭も終わり、部活動も後輩にバトンタッチし、受験生モードへとギアチェンジし、各々、次のステップ実現の挑戦を日々実践

していることでしょう。皆さんの笑顔の花が来春、満開になることを祈るのみです。

「継続は力なり」

私は手稲高校の校訓が大好きです。語源は諸説ありますが、教育者で宗教家の住岡夜晃の詩の一節に由来しているとも言われています。その詩をおくります。

青年よ強くなれ

牛のごとく、像のごとく、強くなれ

真に強いとは、一道を生きぬくことである

性格の弱さ悲しむなかれ

性格の強さ必ずしも誇るに足らず

「念願は人格を決定す 継続は力なり」

真の強さは正しい念願を貫くにある

怒つて腕力をふるうがごときは弱者の至れるものである

悪友の誘惑によって墮落するがごときは弱者の標本である

青年よ強くなれ、大きくなれ

（讃嘆の詩より）



「これでいいのか」

校長 宮嶋 衛次

挑戦的な題名で驚かせてしまい申し訳ありません。この4月に旭川西高校から異動してきました。保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

着任以来約三ヶ月が経ちました。時間を見つけて廊下や体育館を歩き授業中や部活動中の生徒の様子を見ています。異動してくる以前に聞いていた評判どおりに何事にも真摯に取り組む生徒の姿を頼もしく眺めています。

真摯さは、信頼される人となるために必要不可欠な資質です。しかし、近年世の中は急激に変化し、知識基盤社会へと向かっています。以前は、マニュアルどおりに行動できる人材が必要とされていましたが、知識基盤社会で求められている能力は、新しい知識や情報を活用し、協働して新しいものを創り出す力です。この過程で必要な能力の一つに「批判的思考力」が挙げられています。

「批判的思考力」というと、他人の意見等を否定し非難するための思考力と誤解されやすいのですが、そうではありません。自分自身が正しいと思う思考を疑うことです。つま

り、自分自身でこうだと考えていることや、他人から言われたことを鵜呑みにして正しいと考えている自分に「これでいいのか」と疑問を投げかけ、最終的に自分の考えで判断する力とその習慣のことです。時には常識とされていることや、先生と呼ばれる人達の話の疑うことも必要です。

そして手稲高生にこの力をつけるためには、本校の教育活動全体で論理的思考力や科学的思考力等の幅広い思考力を育てていかなければなりません。真摯さを備えている反面、自己主張があまり強くない手稲高生がこれからの時代でリーダーシップを発揮するには、この「批判的思考力」を身に付けさせることが必要不可欠です。

この批判的思考力は我々教職員にも必要な能力です。教育が大きく変化しつつある現在、常に手稲高校の教育が「これでいいのか」を問い続ける姿勢を保ちつつ、生徒のために教育の改善を図っていきたいと思います。今後とも保護者の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

平成二十七年 度 PTA・後援会の役員

PTA役員一覧

会長 古川 昌代
副会長 石尾理恵子

会計監査

会 計

三年次委員長

二年次委員長

一年次委員長

モニター委員長

文化委員長

広報委員長

副委員長

後援会役員一覧

副会長

会計監査

会 計

高崎 修一 小西 靖子 小杉 靖子 佐々木 準子 林 満章 田川 美樹 吉田佳寿子 福原 克興 石尾理恵子 池上 早苗 森 仁 中野 裕子 田中 正浩 高崎 修一 鴨志田美香子 後藤 幸子 石亀 泉 合田由美子 藤原 容代 笹木 祐子 木村 有美 今枝 晴子 下地 晴美 米中 直美 佐藤 梨佳 宮田美恵子 本庄真美子

名誉顧問

山口 雄之 渡部 泰子 宮本 幸子 遠藤 晃 関谷 博 高橋 紀幸 町屋 博 弘津 秀幸 櫻井 英達 大村 喜紀 徳永 義信 宮川 聖子 横須賀教子 種田 千草 柳澤 昌彦

平成二十七年 度 PTA・後援会の主な行事予定

4月 PTA学級委員会・各種委員会
PTA・後援会合同役員会
PTA・後援会総会
環境美化事業(花卉移植)
稲心会総会
5月 全道PTA連合会大会(北見大会)
6月 全道PTA連合会大会(北見大会)
7月 PTA役員会、学校祭協力
8月 全国PTA連合会大会(岩手大会)
9月 PTA・後援会合同役員会
10月 校内マラソン大会協力
2月 PTA役員会
3月 PTA・後援会合同役員会

北海道高等学校PTA連合大会北見大会に参加して

PTA副会長 石尾 理恵子

六月十三日、十四日に北見市で開催された大会に宮嶋校長と共に役員三名で参加させて頂きました。

今大会の主題は「身近な人と結ぶ信頼の絆」です。

一日目は、現在執筆業に加え、講演会、テレビ、ラジオ、雑誌などのメディア出演、フードプロデューサーなど、多方面で活躍中の西村淳氏の講演会でした。

演題は「ご飯にしよう!」で、西村さんが、南極観測隊に参加した時のエピソードや食の大切さ、友情などをスライドと楽しいトークで会場をわかせ、次第に引きこまれて行くものとなりました。

二日目は分科会が行なわれ、私は「親の気持ち、子の気持ち」を通じ合っていますか?をテーマに北見柏陽高等学校で二十四名の方と意見交換して来ました。

子供の登校拒否や会話不足から、何を考えているのか分からないと言った悩みを持つている方、コミュニケーション不足を克服しようと一緒にライブに出かけたりして親子の絆を深めている方、皆がそれぞれに子

供と向き合って努力していると言う事が分かりました。

最近、高校性をとりまく環境の変化やモラルの低下を耳にする事が多くなってきました。

学校、家庭、地域が一体となり、信頼の絆を結んで、親として子供の為に何が出来なのか、もう一度考えていきたいと思いました。

この様な貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございます。

今後のPTA活動に役立てていきたいと思っています。



新任紹介

質問

- 一、勤務校 二、趣味・特技
三、手稲高校の印象
四、自己PR・保護者へのメッセージ



宮嶋 衛次
校長(理科・地学)

- 一、札幌新川→喜茂別→札幌北→理科教育センター→札幌北→室蘭栄→弟子屈→旭川西→札幌手稲
二、卓球(中学・大学) テニス、釣り
三、真摯に努力を続ける高校生と、思いやりあふれるベテランの教職員というのがこの数ヶ月の印象です。
四、地域住民・保護者・近隣高教員と様々な視点で手稲高校を見続けていました。地域・保護者として生徒の理想の学校⇨手稲高校となるよう頑張らせていただきます。



森 仁
(副校長・地理歴史科(世界史))

- 一、札幌工業→静内→滝川(定時制)→札幌手稲
二、バンド演奏(ベース、ギター)、ドライブ、アニメ、料理、写真撮影、
三、生徒が素直でまじめなこと、先生方の指導が一生懸命なことを強く感じました。大阪生まれ。大学卒業後は民間企業に勤め、教員免許を取ったのは三二歳。三十五歳で北海道で採用され移住しました。「巧遅は拙速に如かず」をモットーに、スマイル・スピード・シユアの3Sを大事に仕事をしていこうと心がけております。元来、いい加減な人間ですので、シユア(信頼できる)の部分をしつ

かり磨いていきたいです。「あれ?大丈夫?」と思うことがあれば遠慮無く「だめでしょ」「違うんじゃない」とお声をかけていただけると嬉しいです。



大西 正二
(教諭・英語)

- 一、利尻→釧路北陽→釧路湖陵→札幌手稲
二、アウトドア・マウンテンバイク・カヌー・弁当作り
三、温厚で礼儀正しく、真面目な生徒が多いと感じました。
四、この春、前任校で三回目の卒業生を出し、赴任してすぐの一年担任です。生活環境が大きく変わり戸惑うところもまだありますが、手稲高校のスタッフの一員として戦力になれるように頑張りたいと思います。



荒谷 豊明
(教諭・国語)

- 一、釧路西→音威子府(現・おといねづ美術工芸)→野幌→津別→札幌工業(定時)→札幌手稲
二、読書、ドライブ
三、真面目で素直な生徒だと思います。(今までの勤務校では、考えられないことのような気がします)
四、勤務二校目の音威子府高校のときから、教育相談(カウンスリング関係)を学び始め、現在も研究会等に参加し学んでいます。



西股 昇
(教諭・数学)

- 一、根室西→砂川南→恵庭南→当別→札幌手稲
二、韓国のドラマ。特に時代劇をずっと見ています。最近ではイギリス、スペインのドラマに広がっています。韓国ドラマはやはりいい。

- 三、廊下に机とイスがあり、生徒と先生が学習する姿を初めて見ました。学習の雰囲気があるところにあります。
四、苦手な分野や問題があった時、私はそこだけに集中して取り組みます。一点集中の原則。数学で学んだ方法です。すべてがわかるなんてありません。



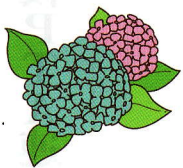
寺田 卓視
(事務主任・一般行政、一般事務)

- 一、室蘭聺→北広島西高校→実習船管理局→静内農業高校→伊達高校→仁木商業高校→深川西高校→札幌手稲高校
二、読書(主として歴史関係) 音楽鑑賞(19世紀から20世紀前半の西洋音楽)
三、都会の喧噪から少し離れたところにあり、落ち着いた環境が第一印象です。休み時間に生徒が自発的に学習しているのに感心いたしました。
四、ふれあう機会が少ないと思いますが、よろしく願っています。



高谷 敏昭
(公務補)

- 一、平成27年4月より手稲高校勤務
二、スポーツ全般鑑賞 特に野球。日ハム応援の為ドーム通い。
三、生徒達の挨拶が大変素晴らしい。先生、職員方の指導が行き届いていると感じます。娘達がお世話になった手稲高に勤務するの何かの縁を感じます。短い期間ですが少しでも恩返しが出来ればと思います。



モニター委員会

校外巡視

P T Aモニター委員長 木村 有美

本年度も五月二十八日～六月四日の期間、各クラスのモニター委員による校外巡視を実施しました。

本校・手稲駅周辺、最寄駅やバス停から本校までの交通機関で生徒の登下校時における服装や自転車・バスの乗車マナーを観察し六月十一日の委員会にて報告会を行いました。服装は夏服への移行期間だったため、ポロシャツの生徒が多く、特に目立って乱れた服装の生徒は見受けられませんでした。本校の生徒は「真面目な印象」との意見が多く聞かれました。

公共交通機関の待機と乗車についてはいずれもマナーが良く、一列に並び私語を慎み静かにしているとの報告がありました。反面、ほとんどの生徒がスマートフォンを操作しているとの声も聞かれました。

自転車については、六月一日に道路交通法の改正があったばかりでしたが、一部でイヤホンの装着、二人並走やスピード走行、歩道の逆走などが見られ、事故につながる可能性もあると心配の声ががりました。生徒の皆さん一人一人がルールを守り安全への意識を持って頂きたいと思っていますので、ご家庭でも話す時間を作っていたいただけたら良いと思います。

宿泊研修

宿泊研修を通して

一年七組 横川 祐希

二日間、私は有意義な時間をすごすことができました。入学してから約一ヶ月たつてクラスにはなじめま

したが、何人かの子たちとはあまり話せずにいました。しかし、この宿泊研修(特に自由時間や運動会)で

たくさん話すことができました。最初に注意された時間厳守も、戸の開

閉も自ら閉めたり、呼びかけたりと積極的に動くことができたと思いま

す。班長などみんなをまとめる役職ではありませんでしたが、いつもよ

りも自分から行動することができたと思います。

そして一番良かったなと思えるのは「あいさつ」と「感謝」

です。今までももちろん、きち

んとあいさつをしていたし、「あ

りがとう」と言えていま

した。でも正直に言うとき、時々ど

ちらもはずかし

くて言い出せな



意識の高い人が多いという話も聞き、私も高い目標をもち続けて努力していこうと気持ちを高



充実した宿泊研修

一年五組 池田 光

皆で泊まって研修を行うということを初めて経験し、とても新鮮でし

た。手稲高校に入学する前までも、将来の事について考える時間がもう

けられているということは知っていましたが、入学してすぐにあるとは思っていませんでした。

改めて手稲高校は大学進学などの進路について真剣に考えてくれて、とても良いと思いました。実際に研修

では、勉強する上での心得をたくさん教えて下さり大変参考になりました。

また大学進学の事についても、手稲高生は国公立大学進学を目標とする

意図の多い人が多く、私も高い目標をもち続けて努力していこうと気持ちを高



めることができました。R・I・C・A・Pの結果を見て、自分が想像していなかった職業が沢山あり、社会に対する視野が広がった気がします。そのためよく知らなかった職業について、調べてみようと思います。

研修⑤のクラス対抗の校歌と運動会とはとても楽しかったです。みんなで息を合わせて跳んだり、歌ったり、投げたり、まだ出会って一ヶ月のクラスの団結力が一つになって高まったなど、実感しました。

この宿泊研修を通して、たくさんの初めての経験ができて中身の濃いものとなり、充実した三日間でした。

青春の足跡

卓球部

卓球春季札幌支部大会

(個人男子ダブルス)

石川・佐藤組 2回戦

岡田・竹岡組 2回戦

村山・外内組 3回戦

(個人戦男子シングルス)

岡田 1回戦

竹岡 1回戦

村山 2回戦

佐藤 1回戦

石川 1回戦

外内 3回戦

(男子団体戦)

1戦目 札幌手稲 0-3 札幌琴似工業

高体連卓球札幌支部大会

(男子団体戦)

1回戦 札幌手稲 1-3 札幌北斗

(個人戦男子ダブルス)

村山・外内組 1回戦

石川・竹岡組 1回戦

(個人戦男子シングルス)

石川 2回戦

村山 2回戦

逸馬 1回戦

外内 2回戦

竹岡 2回戦

男子バドミントン部

バドミントン春季札幌支部大会兼国体予選大会

(団体戦)「西ブロック1部」

札幌手稲 0-3 札幌龍谷

札幌手稲 0-3 札幌北斗

札幌手稲 2-3 札幌西陵

札幌手稲 2-3 札幌漢若

札幌手稲 1-3 札幌英藍

※西ブロック1部6位で秋季は2部へ降格

(個人戦ダブルス)

本田・青野組 3回戦

田中・小出谷組 3回戦

伊藤・丸山組 3回戦

勝岡・原田組 1回戦

(個人戦シングルス)

本田 3回戦

丸山 3回戦

高体連バドミントン札幌支部大会

(団体戦)

1回戦 札幌手稲 3-0 札幌東陵

2回戦 札幌手稲 2-3 札幌南

(個人戦ダブルス)

本田・青野組 3回戦

田中・小出谷組 1回戦

青野 2回戦

3回戦

(個人戦シングルス)

本田 2回戦

青野 3回戦

高体連バドミントン札幌支部大会兼国体予選大会

(団体戦)「西ブロック1部」

札幌手稲 0-3 札幌北斗

札幌手稲 0-3 札幌静修

札幌手稲 1-3 北星女子

札幌手稲 3-1 石狩南

札幌手稲 1-3 札幌龍谷

※西ブロック1部5位で2部降格

(個人戦ダブルス)

増田・敷谷組 1回戦

今渡・畠山組 4回戦

昆野・小山組 4回戦

(個人戦シングルス)

小山 3回戦

昆野 3回戦

高体連女子バドミントン札幌支部大会

(団体戦)

1回戦 札幌手稲 3-0 北星学園付属

2回戦 札幌手稲 0-3 札幌東商業

(個人戦ダブルス)

増田・敷谷組 3回戦

昆野・小山組 4回戦 (ベスト16)

(個人戦シングルス)

小山 4回戦 (ベスト32)

昆野 5回戦 (ベスト16)

男子ハンドボール部

ハンドボール春季札幌支部大会

(予選リーグ) 札幌手稲 16-26 札幌丘珠

札幌手稲 19-30 札幌啓成

※予選リーグ敗退

高体連ハンドボール札幌支部大会

1回戦 札幌手稲 25-20 札幌新川

2回戦 札幌手稲 23-43 札幌静修

女子ハンドボール部

ハンドボール春季札幌支部大会

(予選リーグ) 札幌手稲 10-20 札幌真栄

札幌手稲 12-26 札幌丘珠

札幌手稲 28-9 札幌静修

※予選リーグ敗退

高体連ハンドボール札幌支部大会

2回戦 札幌手稲 14-23 札幌真栄

札幌手稲 14-23 札幌真栄

高体連バスケットボール札幌支部大会

(予選リーグ) 札幌手稲 98-67 札幌厚別

札幌手稲 81-59 札幌北斗

札幌手稲 81-93 とわの森

札幌手稲 72-43 北嶺

※3勝1敗2位で決勝トーナメント進出

(決勝トーナメント)

1回戦 札幌手稲 75-64 札幌清田

2回戦 札幌手稲 61-99 札幌漢若

高体連バスケットボール札幌支部大会

1回戦 札幌手稲 68-60 北海学園札幌

2回戦 札幌手稲 94-59 札幌平岡

3回戦 札幌手稲 35-68 札幌北陵 (ベスト16)

高体連バスケットボール札幌支部大会

(予選リーグ) 札幌手稲 79-63 札幌龍谷

札幌手稲 73-43 石狩南

札幌手稲 39-77 札幌啓北商業

※2勝1敗で決勝トーナメント進出

(決勝トーナメント)

1回戦 札幌手稲 54-67 恵庭南

高体連バスケットボール札幌支部大会

1回戦 札幌手稲 72-62 札幌平岸

2回戦 札幌手稲 60-68 北星附属

高体連バレーボール札幌支部大会

(予選リーグ) 札幌手稲 0-2 札幌西

札幌手稲 0-2 札幌開成

高体連バレーボール札幌支部大会

(予選リーグ) 札幌手稲 0-2 大森

札幌手稲 0-2 札幌北

女子バレーボール部

バレーボール春季札幌支部大会

(予選グループ) 札幌手稲 1-2 札幌西陵

札幌手稲 2-0 北星附属

(決勝トーナメント)

札幌手稲 2-0 北広島

札幌手稲 0-2 札幌山の手

高体連バレーボール札幌支部予選大会

(予選グループ) 札幌手稲 2-0 文教台明清

(決勝トーナメント) 札幌手稲 0-2 札幌東商業

札幌手稲 0-2 札幌東商業

高体連バスケットボール札幌支部大会

Bブロック1回戦

札幌手稲 3-4 札幌北斗

春季北海道高等学校野球大会札幌支部予選

Gブロック2回戦

札幌手稲 3-7 札幌北陵

男子テニス部

テニス春季札幌支部大会

(団体戦)

1回戦 札幌手稲 2-1 石狩南

2回戦 札幌手稲 0-2 尚志学園

(個人戦シングルス)

佐々木 1回戦

池田 3回戦

魚谷 1回戦

(個人戦ダブルス)

佐々木・山下組 2回戦

池田・野口組 2回戦

高体連テニス札幌支部大会

(団体戦)

1回戦 札幌手稲 3-0 札幌南陵

2回戦 札幌手稲 2-1 札幌稲雲

3回戦 札幌手稲 0-2 札幌漢若 (ベスト16)

(個人戦シングルス)

池田 3回戦

佐々木 2回戦

魚谷 1回戦

(個人戦ダブルス)

杉本・山下組 2回戦

池田・野口組 1回戦

[写真:卓球部]

[写真:サッカー部]

●女子テニス部

テニス春季札幌支部大会
(団体戦)
2 回戦 札幌手稲 2-0 北海学園札幌
3 回戦 札幌手稲 0-2 札幌第一
(個人戦シングルス)
伊藤 4 回戦
大橋 3 回戦
西村 1 回戦

●男子テニス部

テニス春季札幌支部大会
(団体戦)
1 回戦 札幌手稲 1-2 札幌啓成
(個人戦ダブルス)
金子・伊藤組 3 回戦
大橋・近田組 2 回戦
(個人戦シングルス)
伊藤・金子組 3 回戦
大橋 2 回戦
伊藤 2 回戦
西村 2 回戦

●サッカークラブ部

サッカークラブ部
予選グループリーグ
札幌手稲 5-0 札幌平岡
札幌手稲 2-1 龍谷学園
(グループ1位 決勝T進出)
決勝トーナメント
1 回戦 札幌手稲 1-3 札幌厚別(ベスト16)
高体連サッカー札幌支部大会
1 回戦 札幌手稲 0-3 札幌大谷

●陸上競技部

高体連陸上競技札幌支部大会
男子100m 濱 3位(全道)
男子110m 中嶋 1位(全道)
男子400m 中嶋 6位(全道)
北海道高等学校陸上競技選手権大会
男子100m 濱 5位(全国)
男子110m 中嶋 3位(全国)
男子400m 中嶋 予選敗退

●剣道部

剣道春季札幌支部大会
(男子団体)
1 回戦 札幌手稲 1勝4敗 札幌深谷

●女子バレーボール部

剣道国体札幌支部大会
澤田 1 回戦
高橋 2 回戦
高橋 1 回戦
畑野 2 回戦
島田 2 回戦

●男子バレーボール部

高体連剣道札幌支部大会
(男子団体)
予選リーグ
札幌手稲 0勝5敗0分 札幌東
札幌手稲 1勝3敗1分 野幌
※予選リーグ敗退
(男子個人)
畑野 1 回戦
平田 2 回戦
島田 3 回戦
高橋 2 回戦
市川 1 回戦
澤田 2 回戦

●弓道部

高体連弓道札幌支部大会
(団体戦) 女子 決勝戦敗退
(個人戦) 男子 決勝戦敗退
(女子個人)
市川 1 回戦
澤田 2 回戦

●空手道部

空手道春季札幌支部大会
(男子個人形)
仁部 予選敗退
相川 予選敗退
(女子個人形)
森谷 決勝進出7位
中村 決勝進出6位
山本 予選敗退
(男子個人組手)
石田 3 回戦
松濱 3 回戦
窪田 1 回戦
高橋 1 回戦

●柔道部

北海道高等学校柔道選手権大会
(個人戦)
岸本 予選敗退

●女子バドミントン部

(女子個人組手)
山本 2 回戦
中村 1 回戦
(男子団体組手) 2 回戦
(女子団体組手) 2 回戦
3位決定戦敗退

●男子バドミントン部

高体連空手道札幌支部大会
(男子個人形)
窪田 優勝(全道)
松濱 ベスト8(全道)
仁部 2 回戦
相川 2 回戦
(女子個人形)
井上 ベスト4(全道)
森谷 ベスト16(全道)
中村 ベスト16(全道)
山本 1 回戦
(男子個人組手)
石田 1 回戦
岡崎 1 回戦
窪田 1 回戦
松濱 2 回戦

●女子バレーボール部

高体連空手道北海道大会
(男子個人形)
窪田 優勝(全国)
松濱 3位
(女子個人形)
井上 5位
森谷 3 回戦
中村 2 回戦
(女子個人組手)
森谷 準優勝(全国)
中村 2 回戦
(女子団体組手) 1 回戦
国体空手道北海道予選大会
(男子個人形)
窪田 優勝
松濱 第3位
井上 3 回戦

●男子バレーボール部

高体連空手道北海道大会
(男子個人形)
窪田 優勝(全国)
松濱 3位
(女子個人形)
井上 5位
森谷 3 回戦
中村 2 回戦
(女子個人組手)
森谷 準優勝(全国)
中村 2 回戦
(女子団体組手) 1 回戦
国体空手道北海道予選大会
(男子個人形)
窪田 優勝
松濱 第3位
井上 3 回戦

●女子バレーボール部

高体連空手道北海道大会
(男子個人形)
窪田 優勝(全国)
松濱 3位
(女子個人形)
井上 5位
森谷 3 回戦
中村 2 回戦
(女子個人組手)
森谷 準優勝(全国)
中村 2 回戦
(女子団体組手) 1 回戦
国体空手道北海道予選大会
(男子個人形)
窪田 優勝
松濱 第3位
井上 3 回戦

●男子バレーボール部

高体連空手道北海道大会
(男子個人形)
窪田 優勝(全国)
松濱 3位
(女子個人形)
井上 5位
森谷 3 回戦
中村 2 回戦
(女子個人組手)
森谷 準優勝(全国)
中村 2 回戦
(女子団体組手) 1 回戦
国体空手道北海道予選大会
(男子個人形)
窪田 優勝
松濱 第3位
井上 3 回戦

●女子バレーボール部

高体連空手道北海道大会
(男子個人形)
窪田 優勝(全国)
松濱 3位
(女子個人形)
井上 5位
森谷 3 回戦
中村 2 回戦
(女子個人組手)
森谷 準優勝(全国)
中村 2 回戦
(女子団体組手) 1 回戦
国体空手道北海道予選大会
(男子個人形)
窪田 優勝
松濱 第3位
井上 3 回戦

●水泳部

高体連水泳札幌支部大会
男子 金澤 100m背泳ぎ 2位(全道)
200m背泳ぎ 2位(全道)
福田 200m背泳ぎ 標準記録突破(全道)
100m平泳ぎ 標準記録突破(全道)
女子 石井 200m平泳ぎ 標準記録突破(全道)
平野 100m背泳ぎ 4位(全道)
200m背泳ぎ 4位(全道)

●放送局

英語プレゼンテーションコンテスト
予選リーグ敗退
第62回NHK杯全国高校放送コンテスト石狩地区大会
朗読部門
加瀬 10位(全道)
品田 73位
青木 70位
倉科 96位
・アナウンス部門
濱野 13位(全道)
加瀬 16位
岡田 46位
小池 72位
・ラジオドキュメント部門 10位
・テレビドキュメント部門 2位(全道)
・創作ラジオドラマ部門 6位(全道)
・創作テレビドラマ部門 5位(全道)
・研究発表部門 7位(全道)

●ESS

英語プレゼンテーションコンテスト
予選リーグ敗退
第62回NHK杯全国高校放送コンテスト石狩地区大会
朗読部門
加瀬 10位(全道)
品田 73位
青木 70位
倉科 96位
・アナウンス部門
濱野 13位(全道)
加瀬 16位
岡田 46位
小池 72位
・ラジオドキュメント部門 10位
・テレビドキュメント部門 2位(全道)
・創作ラジオドラマ部門 6位(全道)
・創作テレビドラマ部門 5位(全道)
・研究発表部門 7位(全道)

●ESS

英語プレゼンテーションコンテスト
予選リーグ敗退
第62回NHK杯全国高校放送コンテスト石狩地区大会
朗読部門
加瀬 10位(全道)
品田 73位
青木 70位
倉科 96位
・アナウンス部門
濱野 13位(全道)
加瀬 16位
岡田 46位
小池 72位
・ラジオドキュメント部門 10位
・テレビドキュメント部門 2位(全道)
・創作ラジオドラマ部門 6位(全道)
・創作テレビドラマ部門 5位(全道)
・研究発表部門 7位(全道)

●ESS

英語プレゼンテーションコンテスト
予選リーグ敗退
第62回NHK杯全国高校放送コンテスト石狩地区大会
朗読部門
加瀬 10位(全道)
品田 73位
青木 70位
倉科 96位
・アナウンス部門
濱野 13位(全道)
加瀬 16位
岡田 46位
小池 72位
・ラジオドキュメント部門 10位
・テレビドキュメント部門 2位(全道)
・創作ラジオドラマ部門 6位(全道)
・創作テレビドラマ部門 5位(全道)
・研究発表部門 7位(全道)

●ESS

英語プレゼンテーションコンテスト
予選リーグ敗退
第62回NHK杯全国高校放送コンテスト石狩地区大会
朗読部門
加瀬 10位(全道)
品田 73位
青木 70位
倉科 96位
・アナウンス部門
濱野 13位(全道)
加瀬 16位
岡田 46位
小池 72位
・ラジオドキュメント部門 10位
・テレビドキュメント部門 2位(全道)
・創作ラジオドラマ部門 6位(全道)
・創作テレビドラマ部門 5位(全道)
・研究発表部門 7位(全道)

●ESS

英語プレゼンテーションコンテスト
予選リーグ敗退
第62回NHK杯全国高校放送コンテスト石狩地区大会
朗読部門
加瀬 10位(全道)
品田 73位
青木 70位
倉科 96位
・アナウンス部門
濱野 13位(全道)
加瀬 16位
岡田 46位
小池 72位
・ラジオドキュメント部門 10位
・テレビドキュメント部門 2位(全道)
・創作ラジオドラマ部門 6位(全道)
・創作テレビドラマ部門 5位(全道)
・研究発表部門 7位(全道)

●ESS

英語プレゼンテーションコンテスト
予選リーグ敗退
第62回NHK杯全国高校放送コンテスト石狩地区大会
朗読部門
加瀬 10位(全道)
品田 73位
青木 70位
倉科 96位
・アナウンス部門
濱野 13位(全道)
加瀬 16位
岡田 46位
小池 72位
・ラジオドキュメント部門 10位
・テレビドキュメント部門 2位(全道)
・創作ラジオドラマ部門 6位(全道)
・創作テレビドラマ部門 5位(全道)
・研究発表部門 7位(全道)

【写真：男子バスケットボール部】

【写真：女子バドミントン部】

【写真：男子バドミントン部】

2015年度(39期生)の入試を振り返って

進路指導部長 清澤 哲生

文低理高・安全志向・地元志向と言われている今年度の入試に臨んだ39期生でしたが、結果は国公立大学への125名の合格者を含め、多くの生徒が進路実現を達成することができました。入試までの間では、不安なときもあったと思いますが、友人や家族が支えとなってくれたことでしょう。ひとりの力ではなくみんなの力で勝ち取った栄冠だと思います。

このように多くの生徒が目標を達成できた要因としては、斉藤年次主任を中心とする先生方の熱心な指導はもとより、生徒たち自身が「最後まであきらめない」という強い気持ちを持ち続け、講習や添削、家庭学習を頑張り続けた結果だったと思います。

現在新しい時代に即した高大接続の実現に向けて大学入試制度の大きな改革が進んでおり、今年度からすでに入試科目の変更や学科の再編を進める大学が多く出ています。早くから目標設定をして取り組むことが進路実現に向けての近道です。多くの情報を得てしっかりとした進路設計を立てることが必要になります。基本は何よりも授業にしっかりと取り組むことです。

本校では講習・添削・模擬試験等で進路指導体制を強化しています。今年度も更に生徒を伸ばし、生徒が進路実現できるように、進路指導部を中心に精一杯生徒のために援助してまいります。

平成26年度 進路状況一覧(合格者数)

(1) 国公立大学	現役	過年度卒	合計
北海道大学	8	5	13
小樽商科大学	13	3	16
北海道教育大学	36	1	37
帯広畜産大学			
室蘭工業大学	15		15
北見工業大学	2		2
旭川医科大学			
札幌医科大学	3		3
札幌市立大学	1		1
釧路公立大学	12		12
名寄市立大学			
はこだて未来大学	1		1
東北大学		1	1
弘前大学	6	5	11
岩手大学	4		4
新潟大学	3		3
山形大学	3		3
富山大学	2		2
金沢大学	1		1
宇都宮大学	1		1
千葉大学	1		1
静岡大学	4		4
青森公立大学	1		1
青森県立保健大学	3		3
高崎経済大学	2		2
都留文科大学	1		1
静岡県立大学	1		1
山梨県立大学	1		1
合計	125	15	140

(7) 就職	現役	過年度卒	合計
防衛大学校	1		1
北海道警察	1		1
合計	2		2

(6) その他各種専修学校	現役	過年度卒	合計
合計	14		14

(2) 道内私立大学	現役	過年度卒	合計
札幌大学	13	1	14
札幌大谷大学	1		1
札幌学院大学	24		24

札幌国際大学	4		4
天使大学	3		3
藤女子大学	60	1	61
北翔大学	4		4
北星学園大学	43	6	49
北海学園大学	120	9	129
北海商科大学	1		1
北海道医療大学	12	5	17
北海道科学大学	85	6	91
北海道情報大学	3		3
北海道文教大学	11		11
北海道薬科大学	5	1	6
酪農学園大学	7	1	8
千歳科学技術大学	7		7
日本医療大学	2		2
合計	405	30	435

(4) 私大短期大学	現役	過年度卒	合計
札幌大谷大学短期大学	3		3
北星学園大学短期大学	2		2
北海道武蔵女子短期大学	13		13
合計	18	0	18

(5) 看護系専修学校	現役	過年度卒	合計
岩見沢市立高等看護学院	2		2
市立室蘭看護専門学校	1		1
北海道医療センター	2		2
勤医協札幌看護専門学校	1		1
日鋼記念看護学校	1		1
中村記念病院附属看護学校	1		1
千葉労災看護専門学校	1		1
東邦大学佐倉看護専門学校	1		1
合計	10	0	10

(3) 道外私立大学	現役	過年度卒	合計
東北学院大学	2		2
早稲田大学		1	1
東京理科大学	1	2	3
明治大学	2		2
青山学院大学	1		1
立教大学	2	1	3
中央大学	2	1	3
法政大学	1	4	5

成蹊大学	2	2	4
駒澤大学	1		1
日本大学		2	2
東洋大学	2	1	3
東海大学	5	1	6
北里大学		1	1
神奈川大学	3	2	5
近畿大学	1		1
芝浦工業大学	2	3	5
日本薬科大学	1		1
創価大学	3		3
千葉科学大学	2		2
杏林大学	2		2
多摩美術大学	1		1
大妻女子大学	1		1
大東文化大学	1		1
帝京大学	2		2
帝京平成大学	1		1
日本体育大学	1		1
東洋学園大学	1		1
津田塾大学		2	
千葉工業大学	2	1	
近畿大学	1	1	2
関西大学	2		2
合計	48	25	68

編集委員

山本 良恵
竹内 真由美
本庄 真美子
桶谷 潤先生
篠田 和巳先生